INAX

Shower toilet

取扱説明書

保証書付

（裏表紙）

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

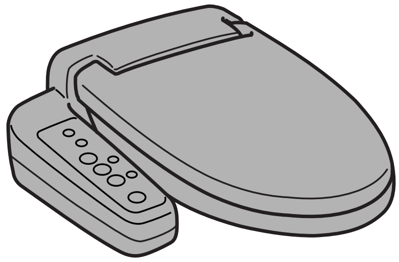
※ この説明書は、New HシリーズとRZシリーズ共通のものです。

シャワートイレ New Hシリーズ

CW-H23型 ・CW-H22型 ・CW-H21型

シャワートイレ RZシリーズ

CW-RZ3型 ・CW-RZ2型 ・CW-RZ1型



もくじ

各部のなまえ……… 1
安全上の注意……… 4
お取り扱い上の注意……… 8
お使いになる前に確認してください……… 9
ご使用方法
●ご使用前の準備（電源・便座・温水）……… 11
●基本的な使い方（おしり・ビデ洗浄）……… 12
（乾燥・脱臭）……… 13
●その他の機能設定（節電）……… 14
（ちょっと便利な機能）……… 15
●知っておいていただきたいこと……… 17
お手入れ方法
●日頃のお手入れ……… 19
●便フタで隠れた部分を掃除します……… 21
●脱臭効果が弱くなった場合……… 22
●本体で隠れた便器部分を掃除します……… 23
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら……… 29
長期間使用しない場合……… 30
冬期凍結の恐れがある場合……… 31
修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら……… 33
アフターサービス……… 36
仕様……… 38
別売品のご案内……… 39
保証書……… 裏表紙

袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

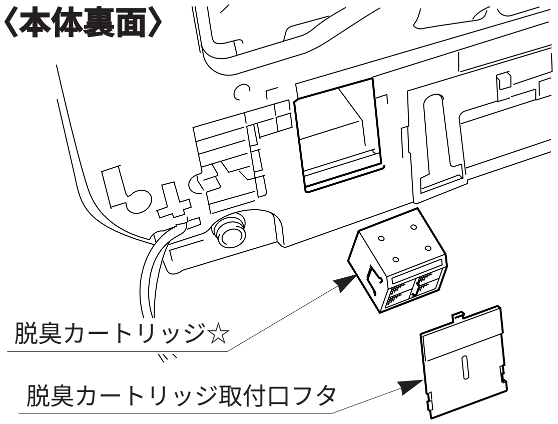
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

各部のなまえ

■全体図 ※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

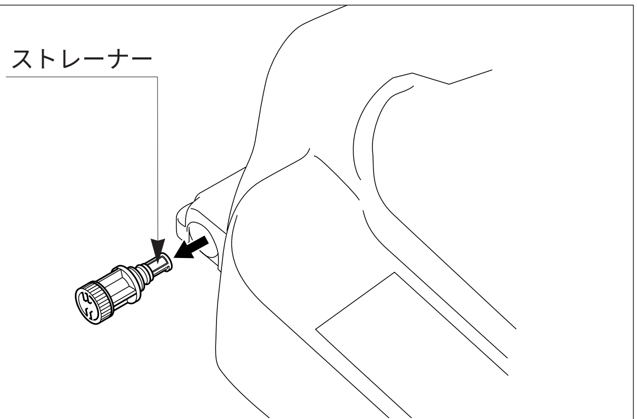
■脱臭カートリッジ ☆

〈本体裏面〉



（☞22ページ）

■ストレーナー



※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
（☞29ページ）

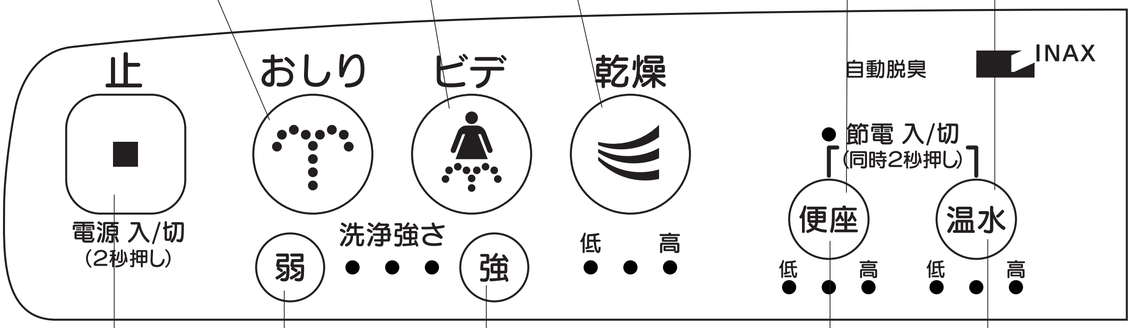
■操作部 ※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

おしり
おしりを洗うときに使用します。（☞12ページ）

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。（☞12ページ）

節電
便座スイッチと温水スイッチを2秒以上押し続けると、便座と温水のヒーターを切って節電します。
（☞14ページ）

乾燥 ★
ぬれた部分を乾かすときに使用します。（☞13ページ）



止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥〈乾燥付の場合〉の動作を止めます。

洗浄強さ
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。
（☞12ページ）

便座
暖房便座の温度を調節します。
（☞11ページ）

温水
温水温度を調節します。
（☞11ページ）

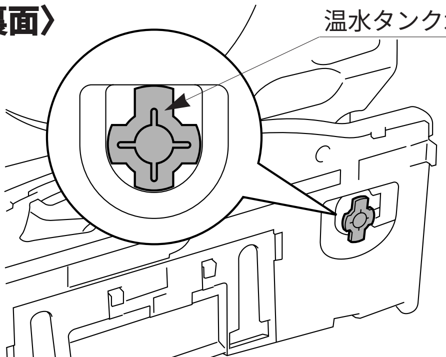
電源
止スイッチを2秒以上押し続けると、電源の入／切をします。（☞11ページ）

※脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。（☞13ページ）☆

■温水タンク水抜栓

〈本体裏面〉

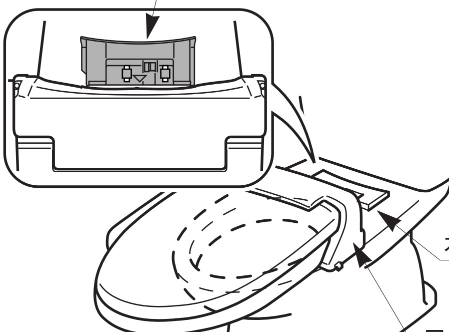
温水タンク水抜栓



※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。（☞26、30ページ）

■本体着脱プレート

本体着脱プレート※
※機種により若干形状が異なります。



本体
ロックレバー

（☞23、24ページ）

●保有機能一覧（あり：○、なし：—）

シ リ ー ズ	New Hシリーズ			RZシリーズ		
品 番	CW-H23型	CW-H22型	CW-H21型	CW-RZ3型	CW-RZ2型	CW-RZ1型
おしり洗浄	○	○	○	○	○	○
ビデ洗浄	○	○	○	○	○	○
温風乾燥	○	—	—	○	—	—
温風「低」始動	○	—	—	○	—	—
暖房便座	○	○	○	○	○	○
脱 臭	○	○	—	○	○	—
ワンタッチ節電	○	○	○	○	○	○

※ 品番は、便フタ裏の品番シールに記載されています。（☞1ページ）お持ちの機能を確認ください。

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・「分解してはいけません！」

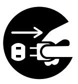
・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

・・・・「指示した場所に触れてはいけません！」

・・・・「指示した場所に濡れた手で触れてはいけません！」

・・・・「火気を近づけてはいけません！」

・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

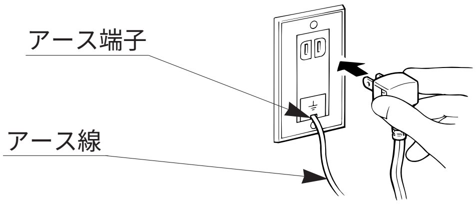
 ・・・・「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

・・・・「アース線を接続しなさい！」

⚠警告

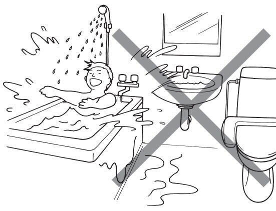
●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

アースを確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。



電源プラグをコンセントに差し込むときは根元まで十分差し込んでください。
※感電・火災の原因になります。

バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
※火災・感電の原因となります。



電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。

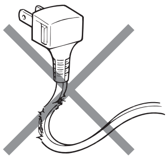
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

シャワートイレ本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

長期間使用しない場合は、必ず水抜き操作を行ってください。（30ページ参照）
※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。（31、32ページ参照）
※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。



上水道以外に接続しないでください。
※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。

●乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

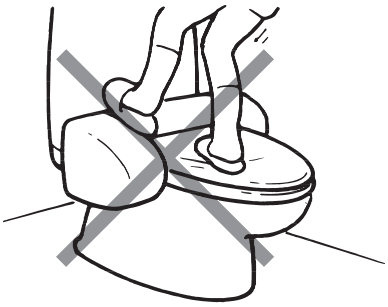
⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

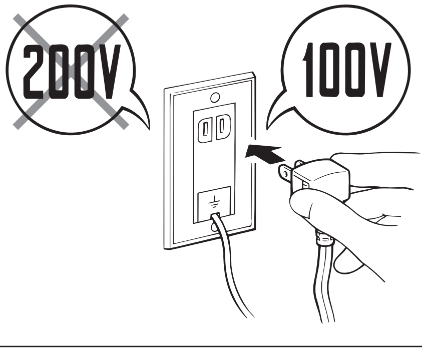
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

便座や本体カバーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※ そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。



交流100V以外では使用しないでください。
※ 火災・感電の原因となります。



脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
〈脱臭付の場合〉
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

⚠注意

本体カバーや便座、便フタはプラスチック製です。タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因となります。

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

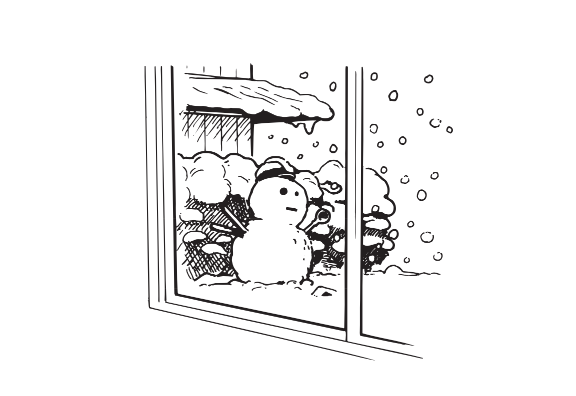
小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。

ご使用中に普段と異なった音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。（☞37ページ）

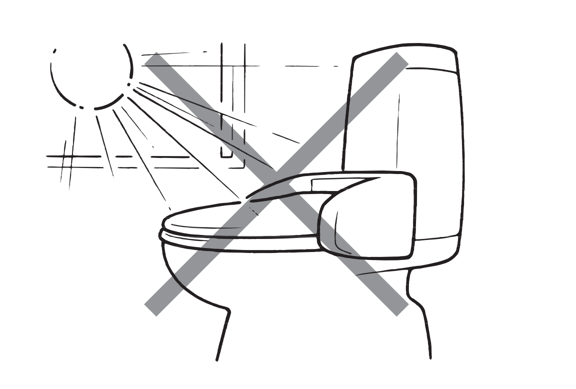
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

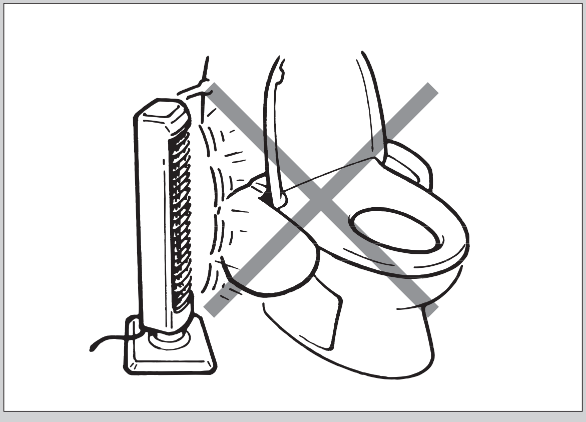
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。(☞31、32ページ)



直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。

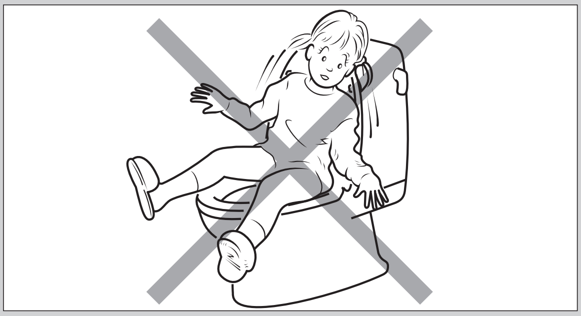


シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。

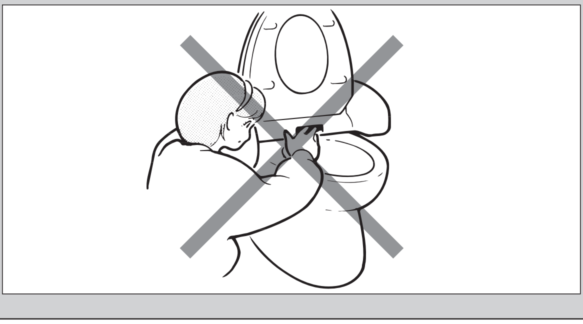


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

便フタにもたれないでください。
※**破損の原因**になります。



絶対に温風吹出口〈乾燥付の場合〉をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。



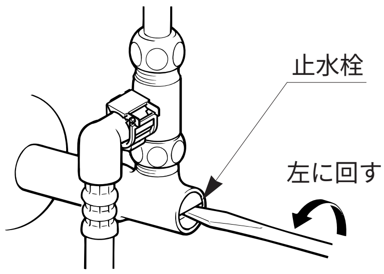
本体・便座・便フタなどのプラスチック部のを乾いた布やトイレットペーパーなどでふかにでください。(☞**19、20**ページ)
※**傷つきの原因**になることがあります。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

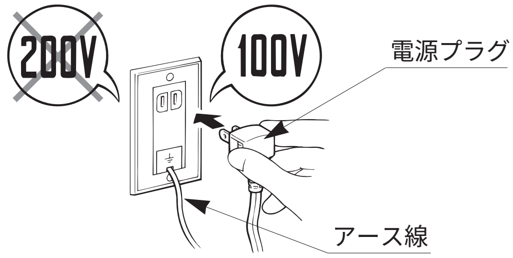
1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

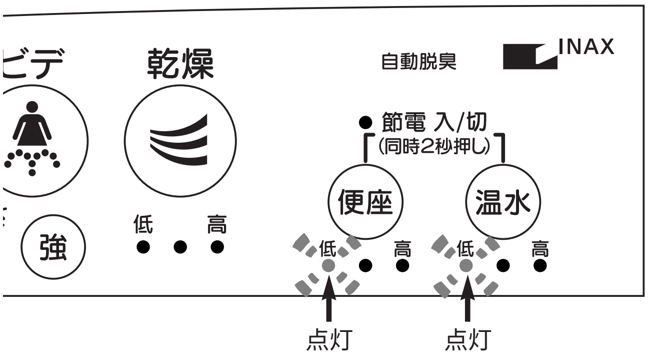


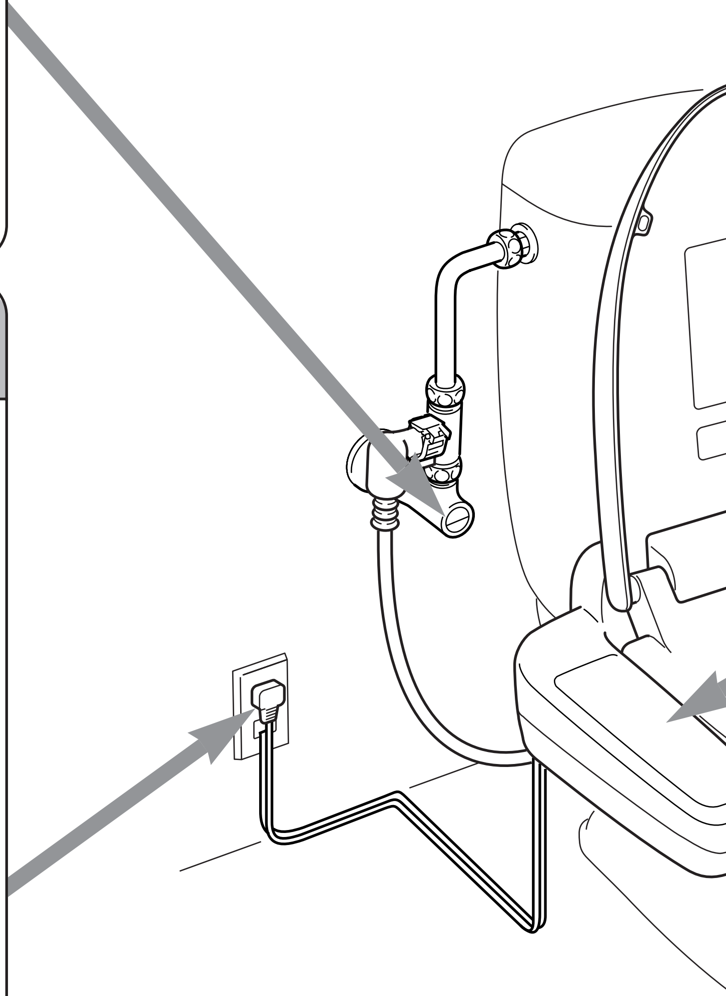
2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

1. **アース線をコンセントのアース端子に接続します。**
2. **電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込みます。**



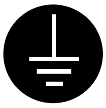
3. **温水と便座の表示ランプ「低」が点灯していることを確認します。**

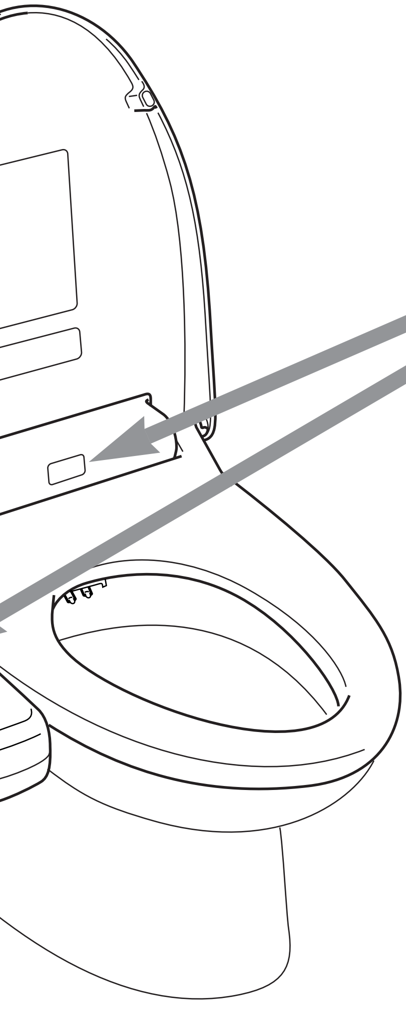




⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。





3 おしり洗浄を確認します。

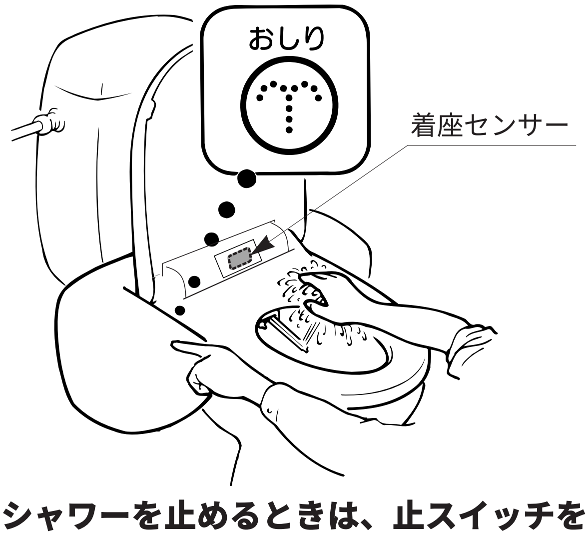
1. 着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。

※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。

2. おしりスイッチを押してください。

3. ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。

ただし温水タンクが満水でないと、ノズルが伸びてくるまで2分近くかかることがあります。(洗浄強さを最強にしておくと早く出てきます。)



4. シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

ご使用方法(11ページ以降)をご覧になって他の機能も確認してください。

5. 着座センサーを覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。

⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。
※ 火災・感電の原因となります。

ご使用方法

《ご使用前の準備》

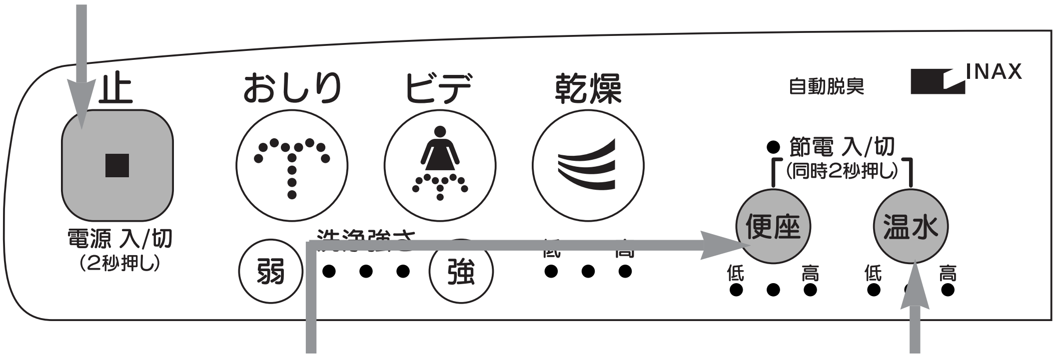
シャワートイレを使用する前に下記の設定をします。

■電源（電源の入／切）

「止」スイッチを2秒以上押し続けて電源の入／切をします。

※ 電源の入／切は、温水と便座の表示ランプが設定温度で点灯しているかどうかで確認できます。

※ ご購入時、電源プラグをコンセントに差し込むと電源は「入」の状態になっています。



■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

※ スイッチを押すごとに「切（消灯）」・「高」・「(中)」・「低」と表示が切り替わります。

※ ご購入時、電源プラグをコンセントに差し込むと便座温度は「低」の状態になっています。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

※ スイッチを押すごとに「切（消灯）」・「高」・「(中)」・「低」と表示が切り替わります。

※ ご購入時、電源プラグをコンセントに差し込むと温水温度は「低」の状態になっています。

⚠ 警告

- 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

参考

- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。(☞15ページ参照)
- 便座温度「(中)」の設定温度だけを2℃下げることができます。(☞15ページ参照)

《基本的な使い方》

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。

■おしり洗浄

1 おしりスイッチを押します。

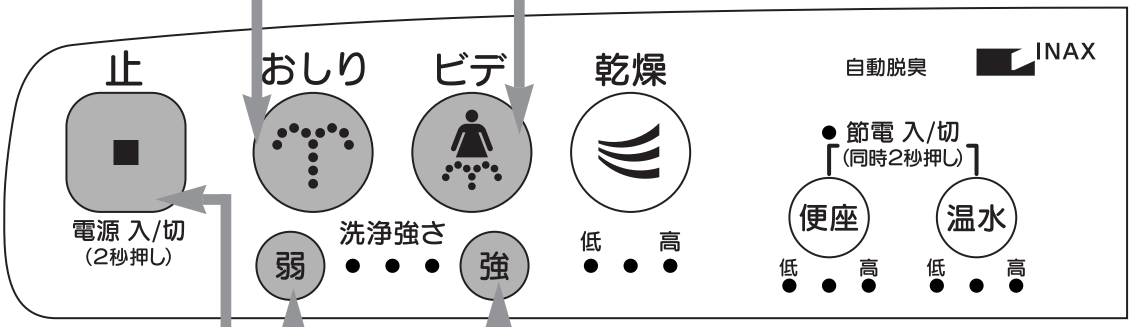
ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

※ シャワーに空気を混入させ、よりソフトに洗浄します。



2 洗浄強さを変えるときは強または弱スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの強さに設定してください。

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

参考

洗浄強さ「弱」だけをさらに弱くことができます。
(☞16ページ)
また、洗浄強さを5段階にすることもできます。
(☞16ページ)

■乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 乾燥スイッチを押します。

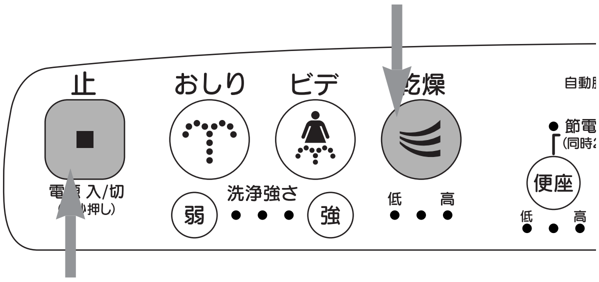
温風がでてきて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

※ 乾燥を使用している時は一時脱臭が止まります。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すごとに「高」から「一（中）」→「低」→「高」と表示が切り替わります。
※ スイッチを押すと、はじめは必ず「高」になります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 温風乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

⚠ 注意

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉

※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。（☞15ページ参照）

■脱臭

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞22ページ）
※ 乾燥〈乾燥付の場合〉を使用しているときは、一時脱臭が停止します。

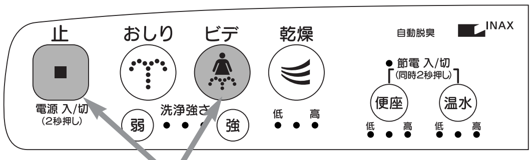
2 便座から立ち上がると約1分後に停止します。

1分後に停止

■脱臭を「切」にしたい場合

●操作方法

「止」スイッチと「ビデ」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）



同時に2秒以上押します。

「入」にする場合も「止」スイッチと「ビデ」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。

不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーに布が掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。当社指定の便フタカバーをご使用ください。
（☞39ページ参照）

《その他の機能設定》

■節電

ワンタッチ節電とは、長時間使用しない夜間など6時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。

ワンタッチ節電（6時間）

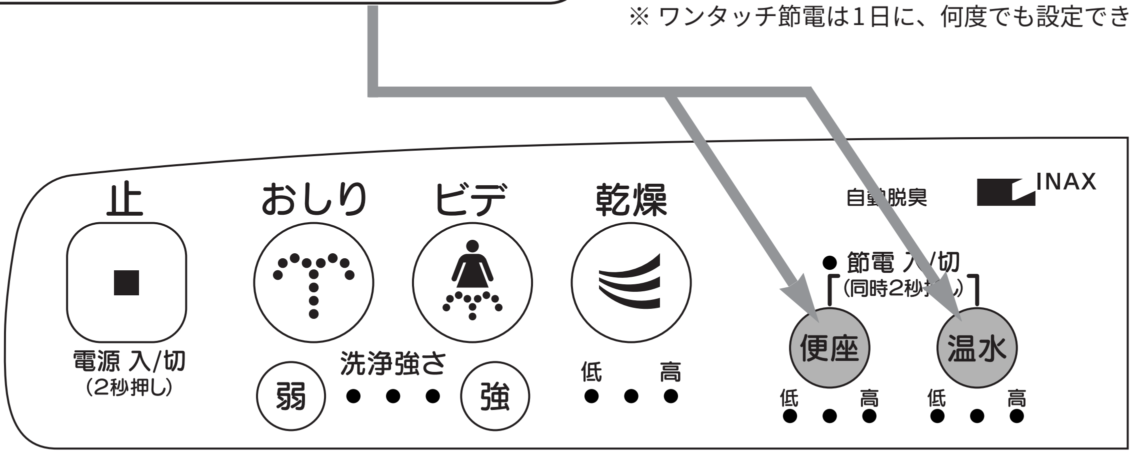
1　便座スイッチと温水スイッチを同時に2秒以上押し続けます。（節電ランプ点灯右記参照）

押してから6時間、便座ヒーターと温水ヒーターへの通電を停止して節電します。6時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

※ ワンタッチ節電が作動しているときは、表示ランプが点灯します。

※ 6時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点灯から消灯に切り替わります。

※ ワンタッチ節電は1日に、何度でも設定できます。



2　途中で解除するときは、再び便座スイッチと温水スイッチを同時に2秒以上押し続けます。（節電ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
　その際は節電を解除してください。

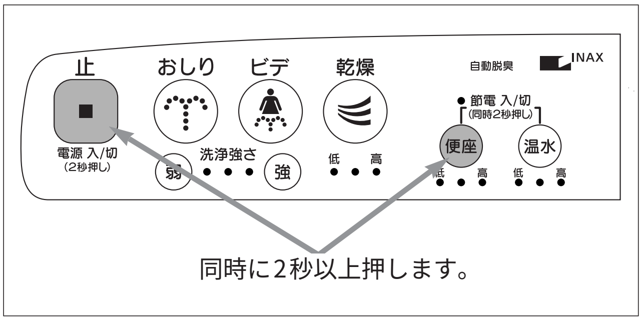
※ 便フタを閉じておくと節電に効果的です。

■ちょっと便利な機能

便座ヒーターオートOFFについて

座っている間だけ自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能がついています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法



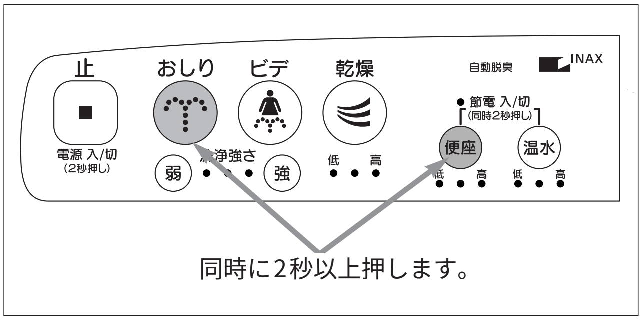
●「止」スイッチと「便座」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。

※ この機能をセットしているときに、着座すると、便座の表示ランプが消灯します。
※ この機能をセットしているときに、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

便座温度「(中)」の設定温度変更について

便座温度「(中)」の設定温度を2℃下げることができます。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

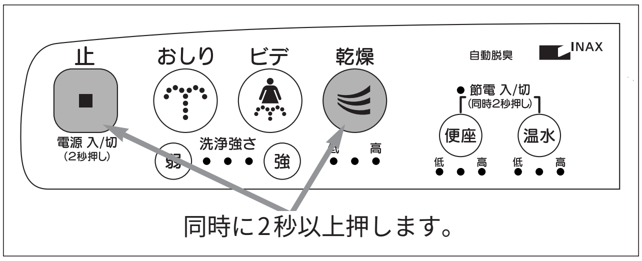


●「おしり」スイッチと「便座」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。

温風「低」始動について〈乾燥付の場合〉

温風温度を「低」から始まるようにすることができます。
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法



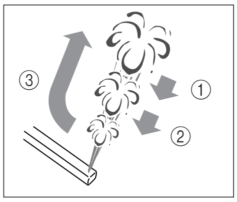
●「止」スイッチと「乾燥」スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。

洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

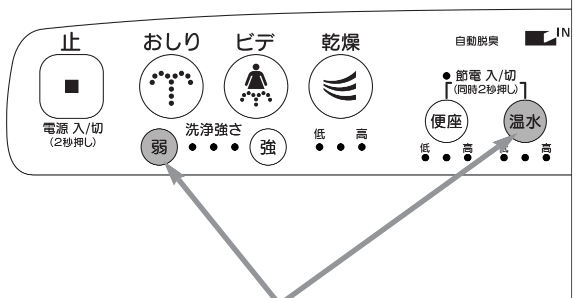
おしり洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。
洗浄強さの弱のみをさらに弱くできます。

■調節方法

●「温水」スイッチと洗浄強さスイッチ「弱」を同時に2秒以上押し続けます。
便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅して1段弱くなります。
弱くする設定は2段階ありますのでお好みの強さに調節してください。



押すたびに洗浄強さが1段階ずつ弱くなり、3回押すと元に戻ります。



同時に2秒以上押し続けます。

※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなったり、伸び時間が遅くなる恐れがありますのでご注意ください。

●元に戻す場合は再度、「温水」スイッチと洗浄強さスイッチ「弱」を同時に2秒以上押し続ける操作を繰り返します。合計3回目に元に戻ります。
※一段階弱くした場合は2回操作し、二段階弱くした場合は一回操作すると元の洗浄強さに戻ります。
操作のたびに便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。

洗浄強さをさらに細かく使いたい方のために

おしり洗浄・ビデ洗浄の強さをもっと細かく切り替えたいと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

●洗浄強さスイッチ「弱」、「強」を同時に2秒以上押し続けます。
便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅して、3段階から5段階に切り替わります。

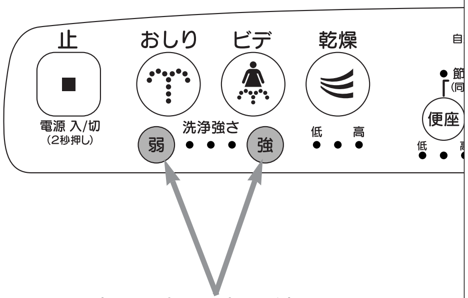
※「強」と「中」の間の強さは「中強」両方のランプが点灯し、「中」と「弱」の間の強さは「弱中」両方のランプが点灯します。

3段階

洗浄強さ	表示ランプ		
「弱」	●	○	○
「中」	○	●	○
「強」	○	○	●

➡ 5段階

洗浄強さ	表示ランプ		
「弱」	●	○	○
「弱中」	●	●	○
「中」	○	●	○
「中強」	○	●	●
「強」	○	○	●



同時に2秒以上押し続けます。

●元に戻す場合も同じ方法で行います。

《知っておいていただきたいこと》

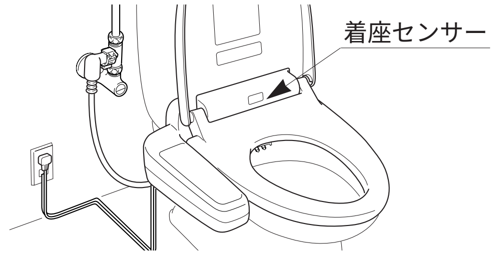
温かいシャワーの量と温度は？

●温水タンクの貯湯量は、0.88 Lです。
おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下します。続けて使用する場合は、3分間程度待ってから再度使用してください。

●シャワーの温度は、表示ランプの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低: 約36℃、中(－): 約38℃、高: 約40℃。
冬期には冷水（約5℃）から適温（約40℃）になるまでに約15分間かかります。

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥の各機能がはたらきません。



着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

● **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。

● **黒色や毛羽立った布地などの光が反射しにくい衣服を着ている場合**
※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。

● **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水スイッチを入れたときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。

省 エ ネ に つ い て 。

省エネのためには、以下の項目が有効です。

●使用後は便フタを閉じておきましょう。

●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
※ ただし、指定のカバー（☞39ページ）を使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。

●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。

●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。

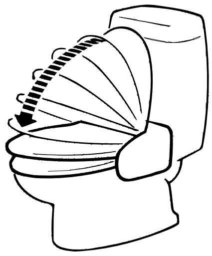
●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。

●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。（☞31、32ページ）

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。



便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。
塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレの故障・破損の原因になります。

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えますので、ご心配はありません。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

洗浄強さが弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが弱にあると、ノズルが出ないことがあります。
このようなときは、「強」にしてください。(☞12ページ)

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお手入れのしかた

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

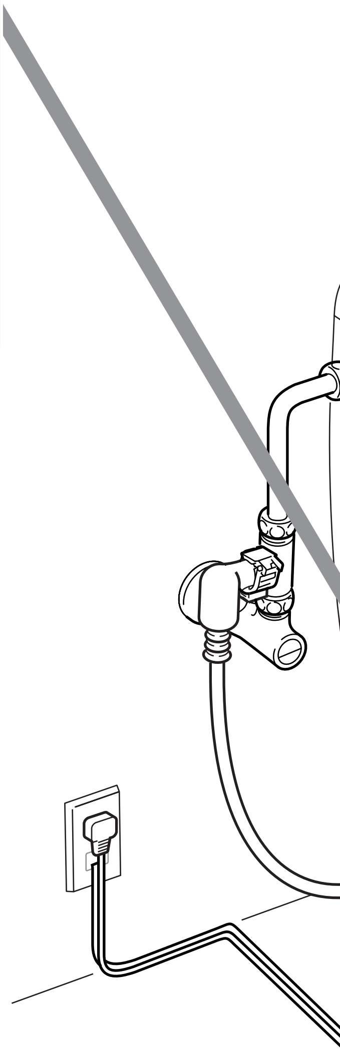
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● お手入れにはINAX純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤なども使用できますが、中には適さない製品があります。
ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については39ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞21ページ参照）また、本体を便器から外すことができますので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞23、25ページ参照）

注意 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※傷つきの原因になります。

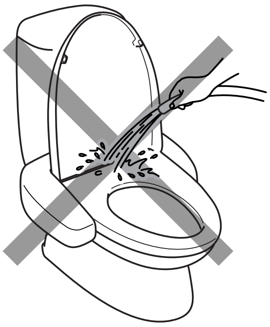


⚠ 警告

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

⚠ 警告

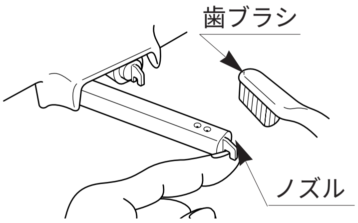
シャワートイレ本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。



⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガや感電・火災の原因となります。

ノズルのお手入れのしかた



ノズルを引き出し、シャワーが噴出する穴が汚れていたら歯ブラシ等で掃除してください。
※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。

抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

KILAMIC抗菌商品について

- KILAMIC抗菌商品は,商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格SIAA*に適合した製品です。

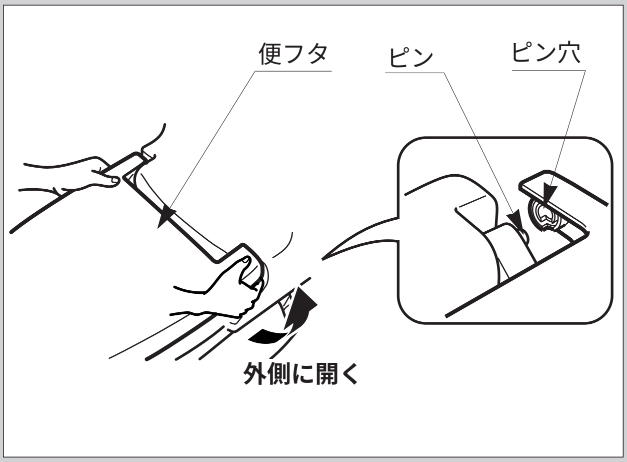
＊：SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

《便フタで隠れた部分を掃除します》

注意 **お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

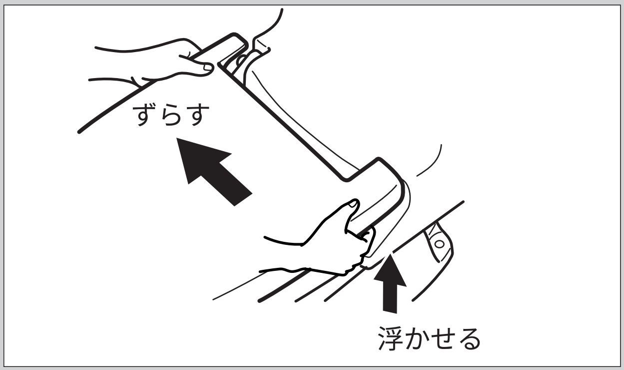
便フタの外しかた

1. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



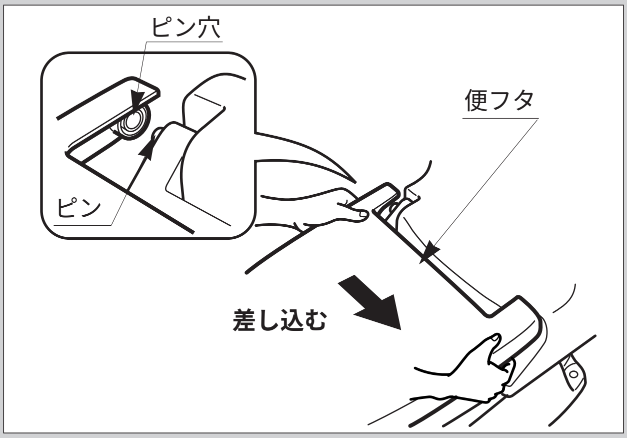
2. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

注意 強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。

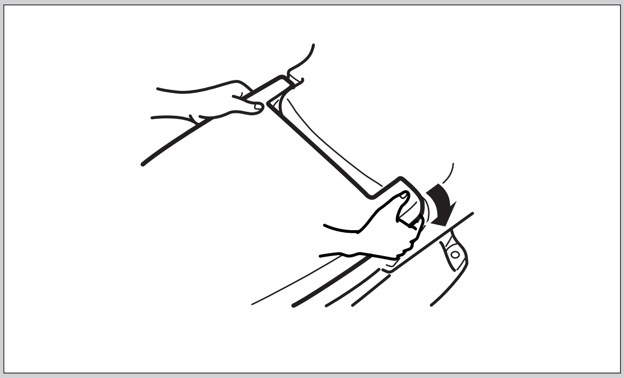


便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



お手入れのあとは、電源プラグをコンセントに差し込んで、温水と便座の表示ランプが電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。

2. 本体を便器から外します。
(☞23ページ参照)

3. 本体底面にある、脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。

4. 脱臭カートリッジを引き抜きます。

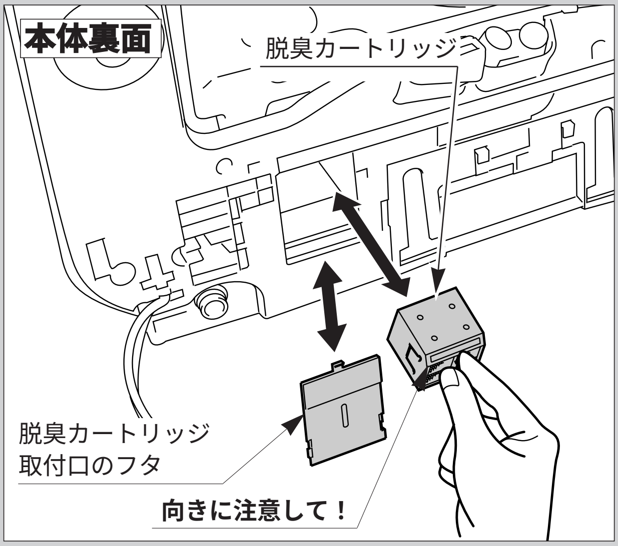
5. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。

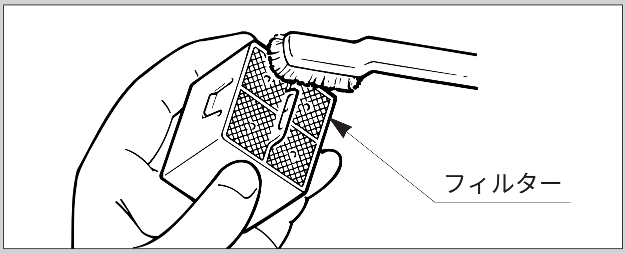
注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

6. 脱臭カートリッジのつまみを持ち取付口に添って差し込み、フタを取り付けます。

注意 脱臭カートリッジは右図の向き（角を削った部分を上にして）で、本体に取り付けてください。

7. お手入れが終わったら、本体を元通りに取り付けます。
(☞24ページ参照)





■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、39ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

お手入れ方法

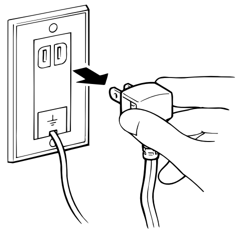
《本体を外して掃除します／本体スライド着脱》

本体を外して、便器全体および本体の裏側がお掃除できます。細かいところまでしっかりと掃除したい時に便利です。

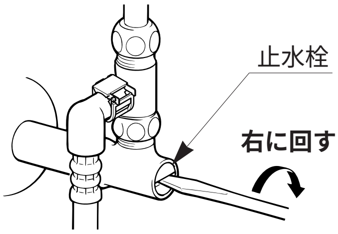
※分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意1.参照）



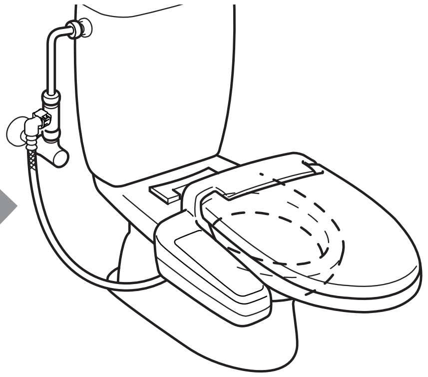
2. 止水栓を閉めて給水を止めます。
※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



3. ① 本体右側にあるロックレバーを引きます。
② **手前に少し持ち上げるように**スライドさせて、本体を便器から外します。　（注意2.と3.、4.参照）

※外すときは、便座・便フタを持たずにゆっくりスライドさせてください。また、無理にこじらないでください。

4. 本体を便器リム部に静かに置きます。



注意

1.電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。

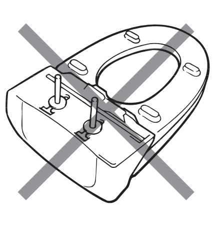
2.温水タンクの水は、必ず抜いてください。
※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

3.コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

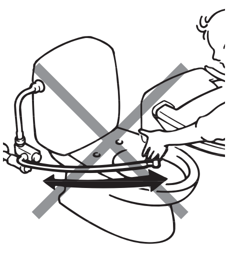
4.本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。

5.本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
※故障の原因になります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！



2.掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

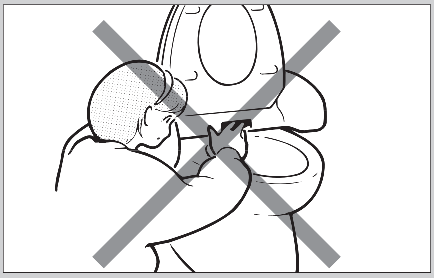
⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

注意

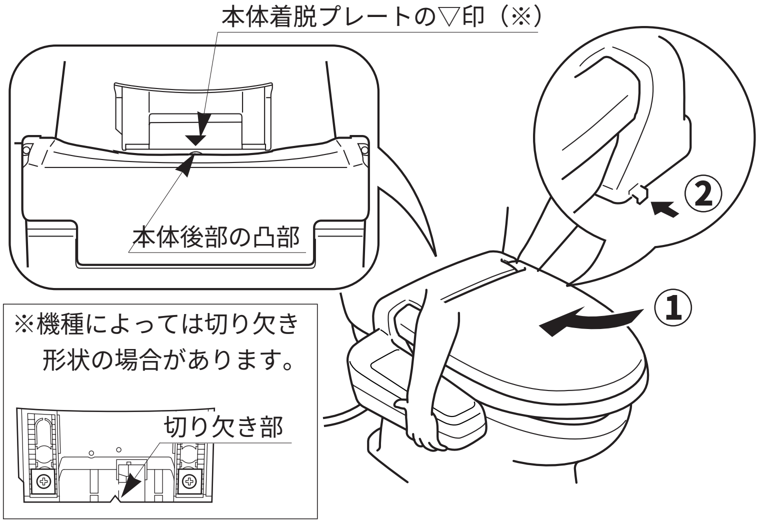
●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。
※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

●開口部やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。
※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



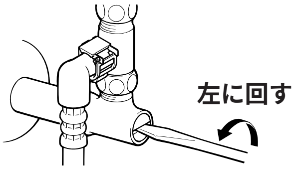
3.本体の組付けかた

1. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの▽印（※）と本体後部にある凸部を合わせます。



2. **手前を少し浮かせるようにして**、本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。
※ 奥までしっかりスライドしないと、ロックレバーは押し込めません。
固定後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認します。

3. 止水栓を元の位置まで開いて、給水します。
※ 各部に漏水がないか確認します。



4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
このとき温水と便座の表示ランプが、電源プラグを抜く前と同じであることを確認します。

5. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
（☞9、10ページ）

注意

●本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。
※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。

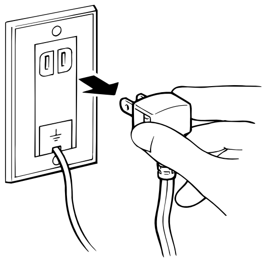
●ホース類を無理に曲げないでください。
※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

〈本体を着脱プレートごと外す（ＲＺシリーズのみ）〉

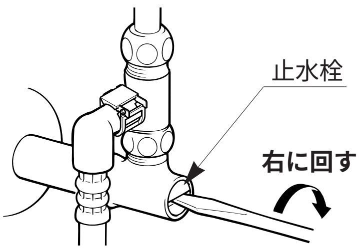
※ＲＺシリーズのみ、本体着脱プレートごと外す事もできます。本体スライド着脱とお好みにより使い分けください。

1．本体全部の外しかた

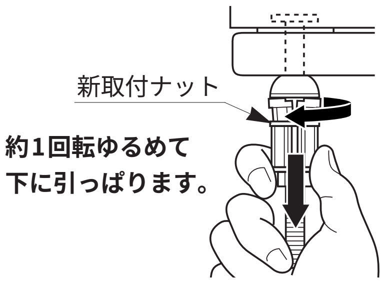
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。（注意1.参照）

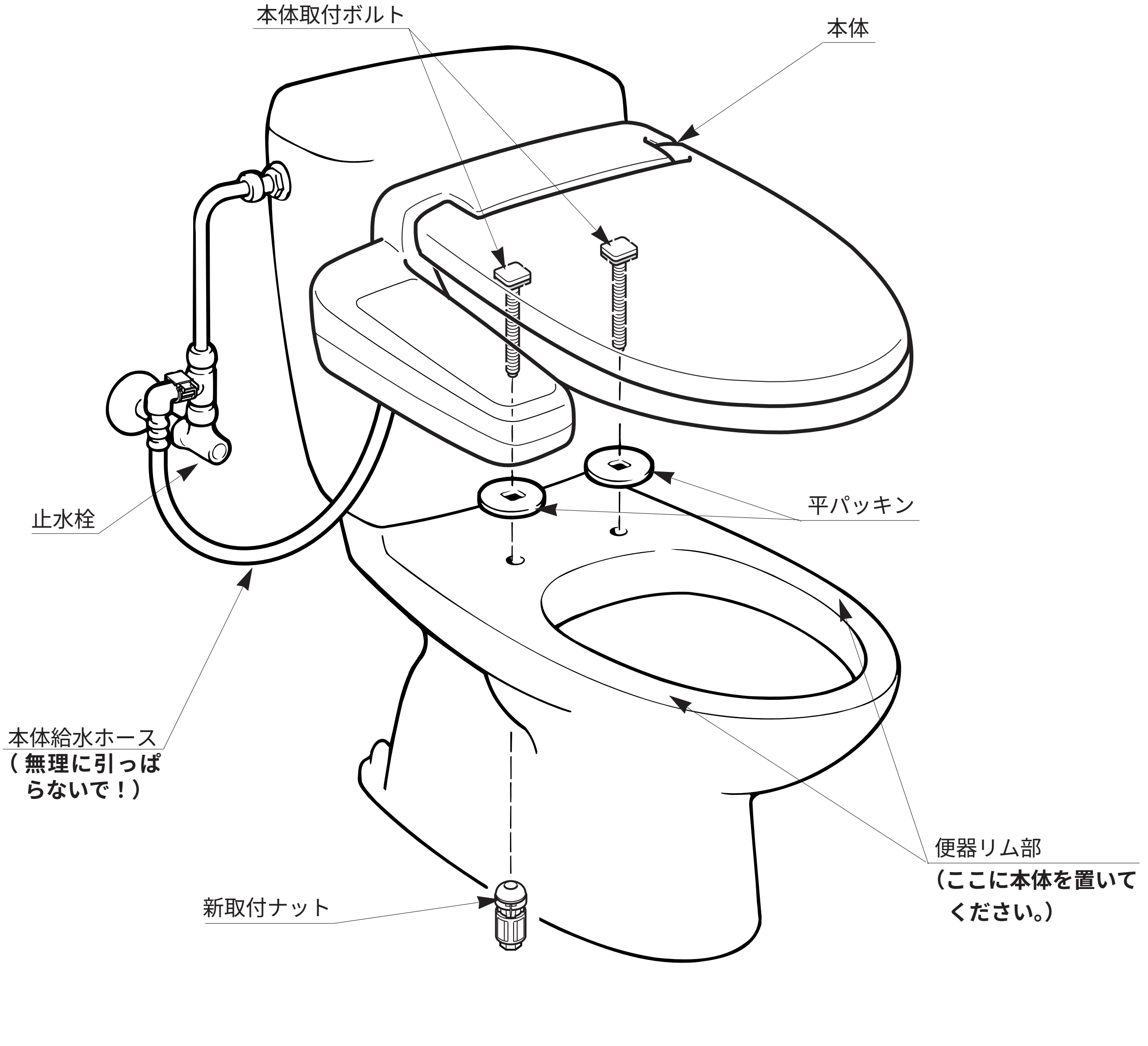


2. 止水栓を閉めて給水を止めます。
※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



3. 本体取付ボルトから新取付ナットを外します。





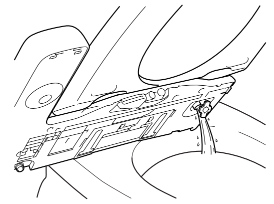
お手入れ方法

4. 本体を静かに垂直に持ち上げ、便器から外します。

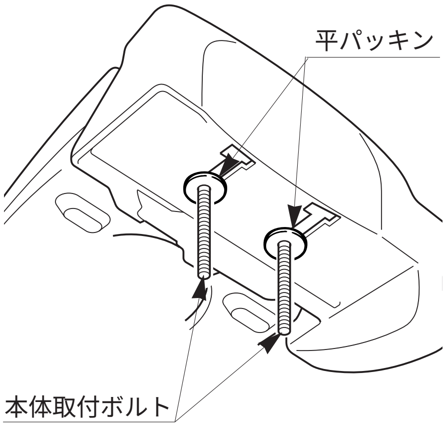
（注意3.と4.、5.参照）

5. 温水タンクから水を抜きます。（☞30ページ）

※ 水抜き完了後、水抜栓は確実に取り付け直してください。（注意2.参照）



6. 本体に本体取付ボルトと平パッキンが確実に取付いていることを確認します。



注意

1.電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。

2.温水タンクの水は、必ず抜いてください。

※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

3.パッキン類や本体取付ボルトなどの部品を紛失しないように注意してください。

特に便器内に落とさないようにしてください。

4.コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。

※破損や漏水の恐れがあります。

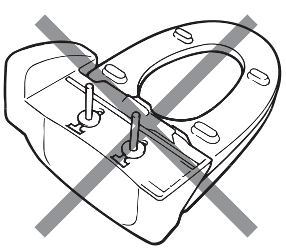
5.本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。

※漏水・故障の原因となります。

6.本体は、電源を入れたまま裏返さないでください。

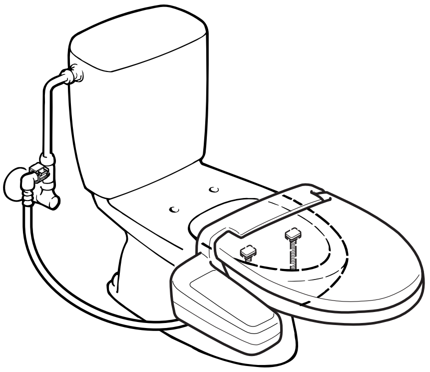
※故障の原因になります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！

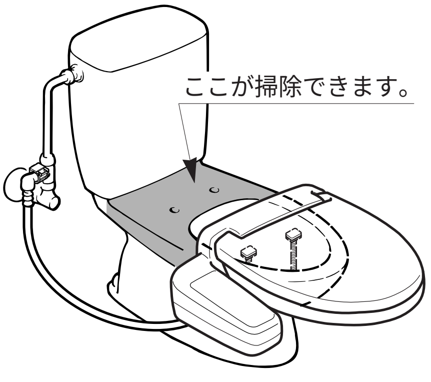
7. 本体を便器リム部に静かに置きます。（注意4.と5.、6.参照）



※ 分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

2.掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。



※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

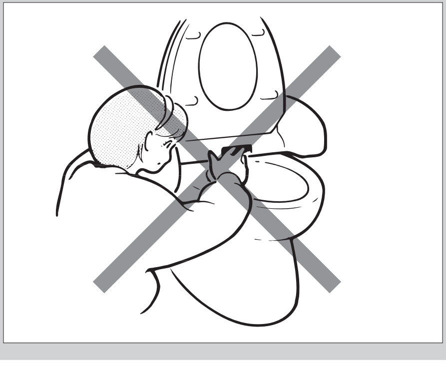
注意

● **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。**

※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

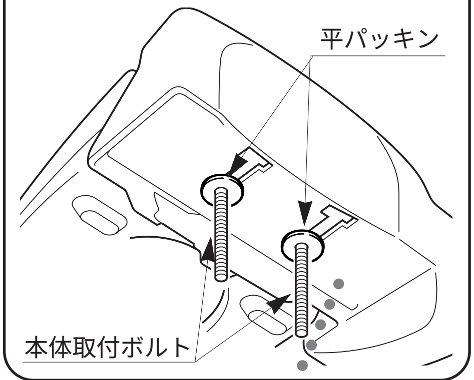
● **開口部やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。**

※ 手をケガしたり、故障の原因になります。

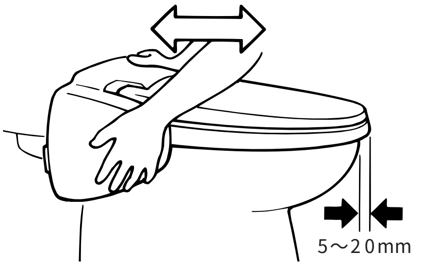


3.本体の組付けかた

1. 本体に本体取付ボルトと平パッキンが確実に取付いていることを確認します。

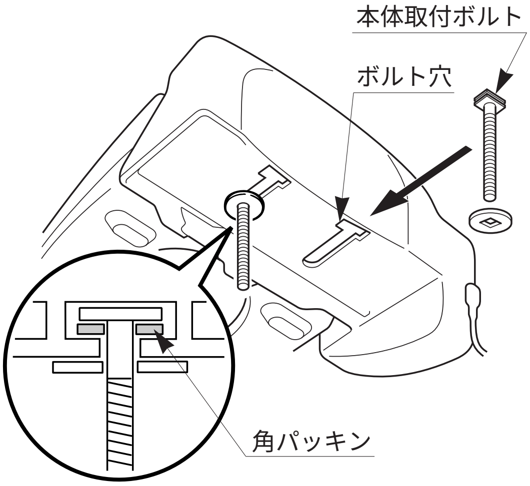


2. 本体取付ボルトを便器の取付穴に通して本体を設置します。

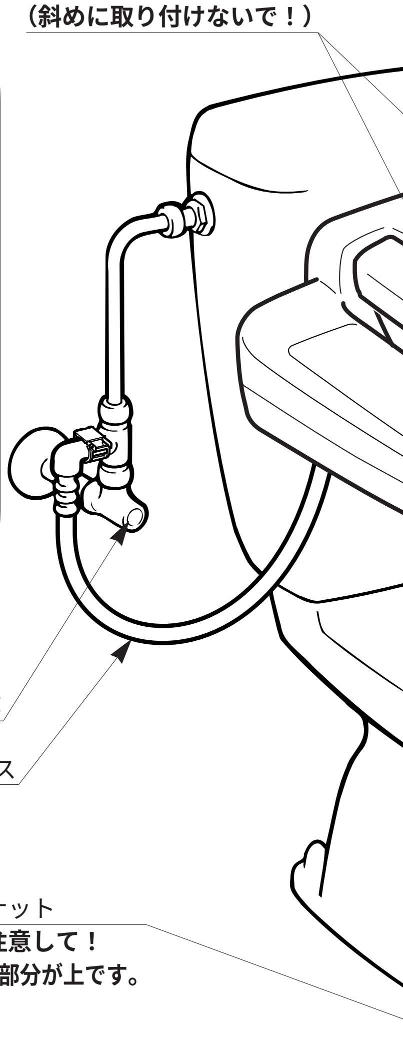


※ 便座の先端が便器の先端より5～20mm出るように前後の位置調節をします。

もし、本体取付ボルトが外れていたら、本体裏側のボルト穴に取り付けてください。



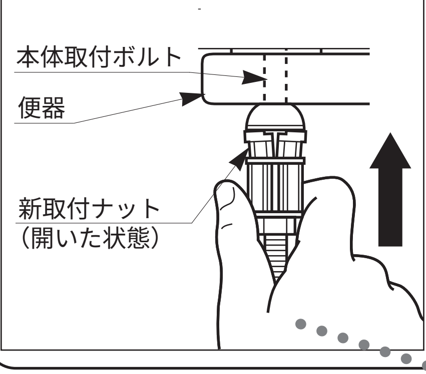
本体取付ボルトには角パッキンが付いています。角パッキンを外さないでください。



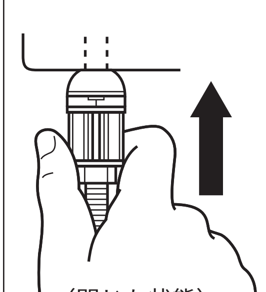
お手入れ方法

3. 本体取付ボルトに開いている新取付ナットを通して締め付けます。

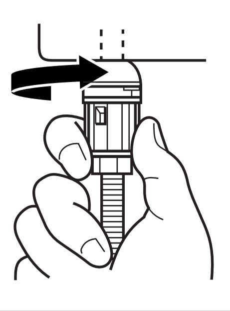
(1) ボルトに新取付ナットを通す



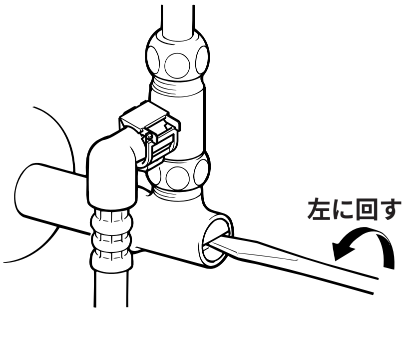
(2) 強く押し込んで閉じさせる



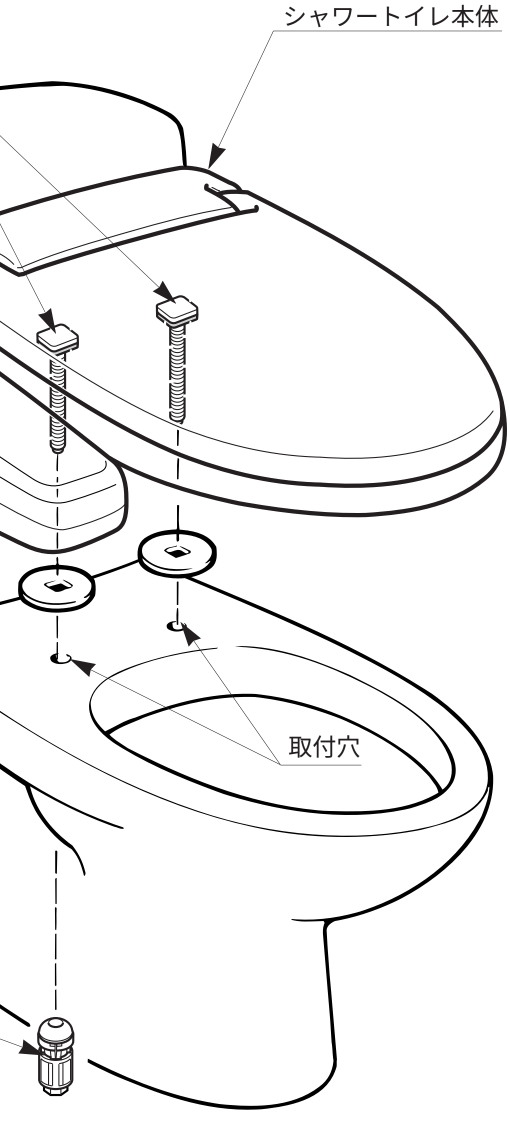
(3)回して締め込む

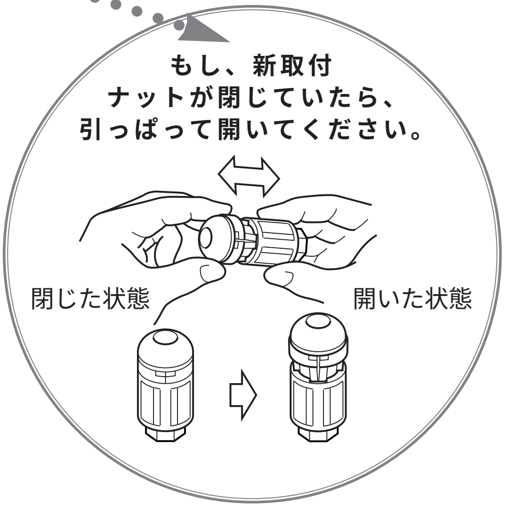


4. 止水栓を元の位置まで開いて、給水します。

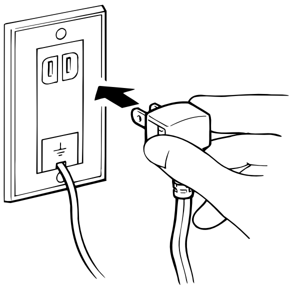


※ 各部に漏水がないか確認します。





5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



6. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
（☞9、10ページ）

注意

1. ホース類を無理に曲げないでください。

※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

お手入れ方法

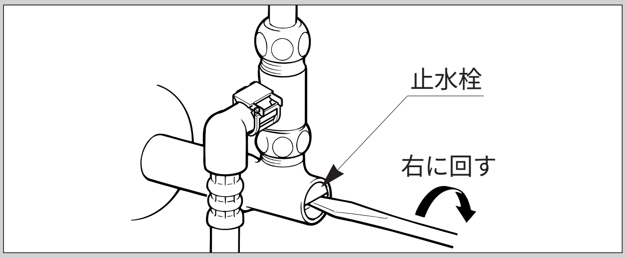
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

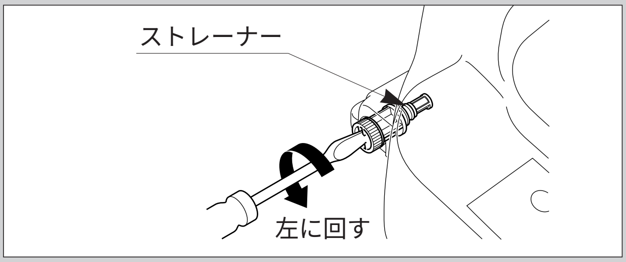
1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

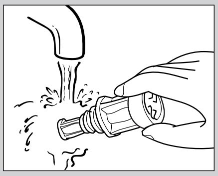


2. 本体左下のストレーナーを工具で回して外します。

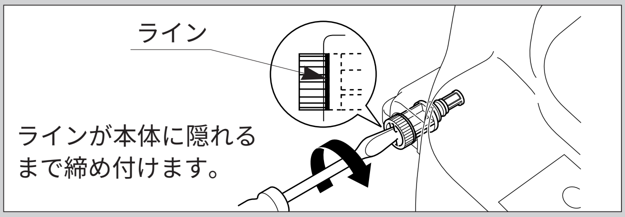
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



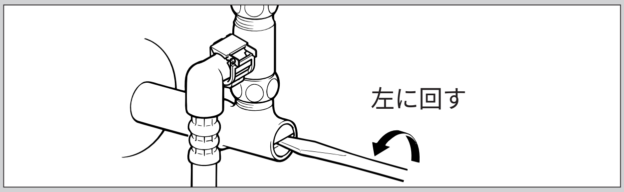
3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。



4. ストレーナーを工具で確実に取り付けます。



5. 止水栓を元の位置まで開きます。



6. 最後に必ず試運転を行ってください。
（☞9、10ページ）

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

長期間使用しない場合

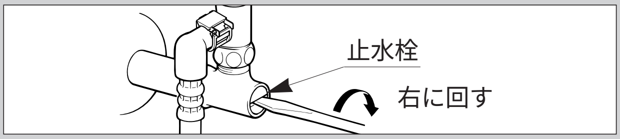
以下の場合は水抜きを必ず行ってください。

●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）

●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結し、漏水する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。



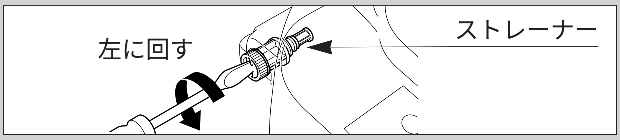
2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 電源プラグをコンセントから抜きます。

4. 本体給水ホースから水を抜きます。

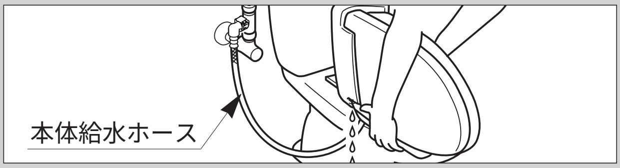
① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。

② ストレーナーを工具で回して外します。

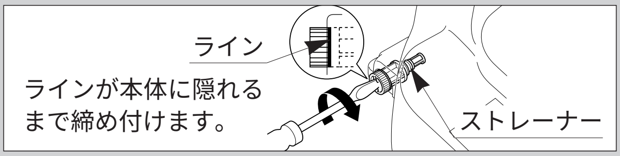


③ シャワートイレ本体を便器から取り外します。（23ページ参照）

④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。

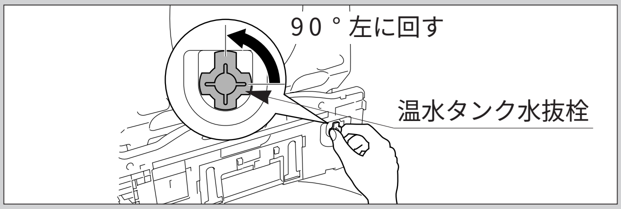


⑤ 水抜き完了後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。

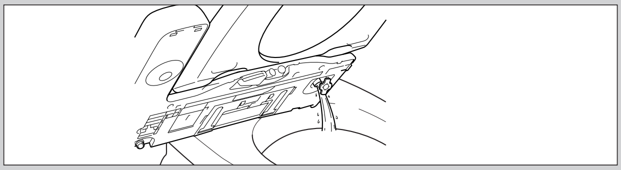


5. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

① 本体底面にある水抜栓を左(反時計方向)に90度回してゆるめます。



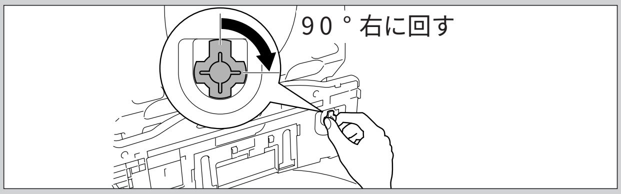
② 水抜栓を引き出し、本体を手前に傾けて温水タンクから水を完全に抜きます。



注意 **本体を立てたままの状態で水を抜かないでください。**

※水が本体内部に進入して故障の原因になります。

③ 水抜き完了後、水抜栓を右(時計方向)に90度回して締め付けます。



④ .シャワートイレ本体を便器に取り付けます。（24ページ参照）

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞9、10ページ）

⚠ 警告

長期間使用しない場合は、必ず水抜き操作を行ってください。

※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。

※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

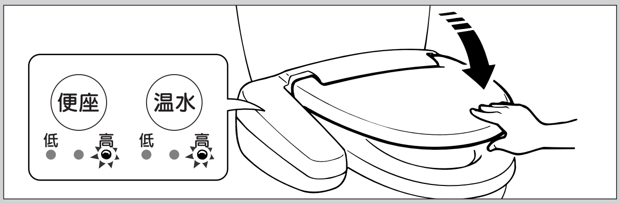
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込み、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



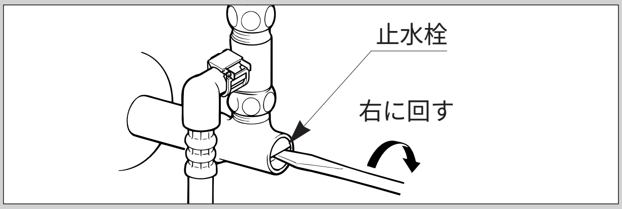
2. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

---

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

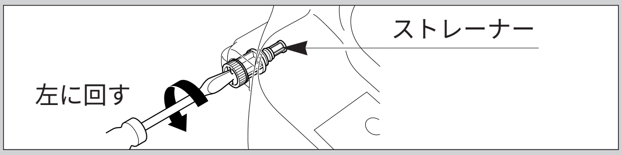
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



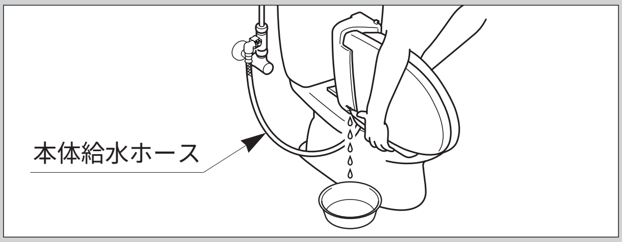
（次ページの注意参照）

2. 本体給水ホースから水を抜きます。

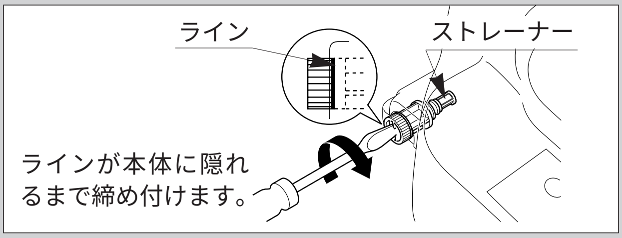
① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを工具で回して外します。



③ シャワートイレ本体を便器から取り外します。（23ページ参照）
④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



⑤ 水抜き後、シャワートイレ本体を便器に取り付けます。（24ページ参照）
⑥ ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。

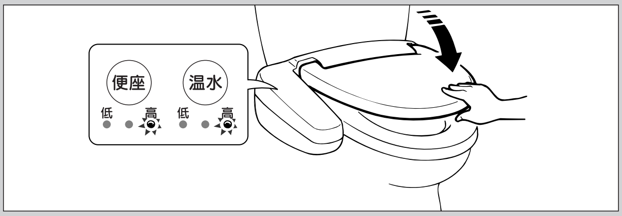


3. 着座センサーを手でおおっておしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）
約5秒後、止スイッチを押してください。

4. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞9、10ページ）

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



2. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

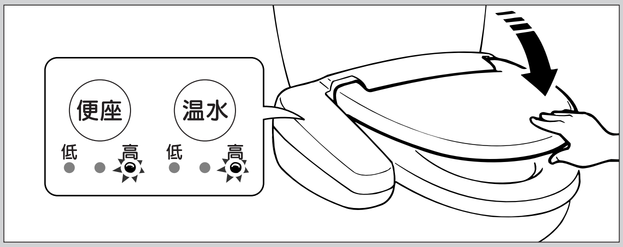
タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

3. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、「一般的な凍結防止方法」と同様にシャワートイレ内の各部の水を抜いてください。

水抜栓による凍結防止方法

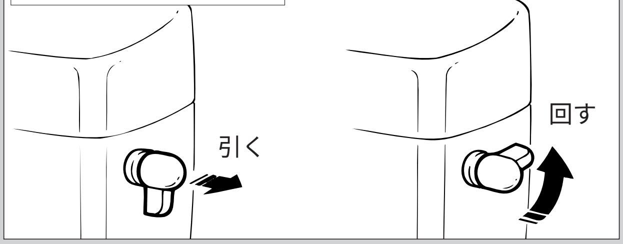
1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



2. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

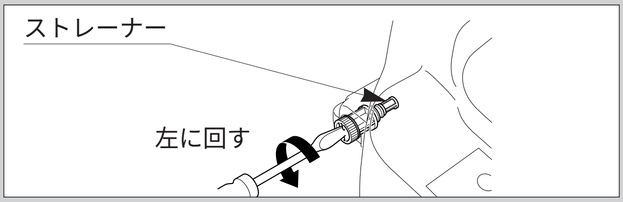
3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

寒冷地用便器の一例

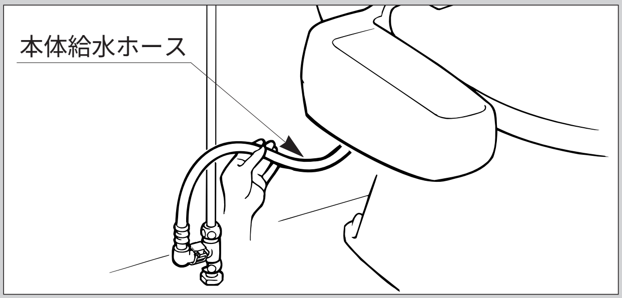


4. 本体給水ホースから水を抜きます。

① ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを工具で回して外します。



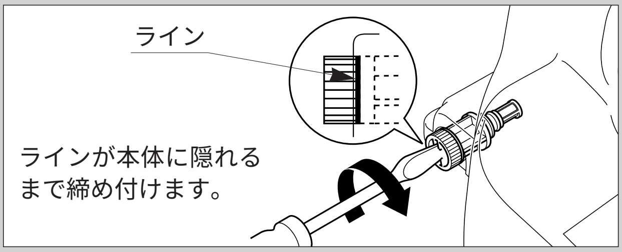
③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



5. 着座センサーを手でおおっておしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）

約5秒後、止スイッチを押してください。

6. 水抜き後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞9、10ページ）

⚠ 警告

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱INAXメンテナンスにご相談ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置
全く動かない	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源が「切」（温水と便座の表示ランプ消灯）になっていませんか。	止スイッチを2秒以上押して、本体の温水と便座の表示ランプを点灯させます。（☞**11**ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。（☞**9**ページ）
	漏電していませんか。（温水と便座の表示ランプ消灯）になっていませんか。	電源プラグをコンセントから抜き、しばらくおいてから再び差し込みます。それでも作動しない場合は、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
	〈漏電保護機能付の場合〉漏電していませんか。（漏電表示が点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**

おしり・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を左に回します。（☞**9**ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。（☞**29**ページ）
	着座センサーに汚れや水滴などが付着していませんか。	汚れや水滴などを取り除きます。（☞**17**ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さダイアルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さを「強」側にします。（☞**12**ページ）
	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。（☞**17**ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。（☞**17**ページ）

おしり・ビデ洗浄（続き）

現象	原因	処置
シャワーが出ない	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。（☞**10**ページ）
シャワーが温かくない	温水スイッチが適当な温度に調節されていますか。	温水スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞**11**ページ）
	長時間洗浄しましたか。	約3分で温かくなります。（☞**17**ページ）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞**14**ページ）

温風乾燥〈乾燥付の場合〉

現象	原因	処置
動かない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。（☞**17**ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。（☞**17**ページ）
温風が暖かくない	乾燥スイッチが適当な温度に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞**13**ページ）
温風が途中で止まる	4分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。（☞**13**ページ）

暖房便座

現象	原因	処置
便座が暖かくない	便座スイッチが適当な温度に調節されていますか。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞**11**ページ）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞**14**ページ）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオートOFF機能が働いていませんか。	便座ヒーターオートOFF機能を解除します。（☞**15**ページ）

脱臭〈脱臭付の場合〉

現　象	原　因	処　置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーに紙が貼りっぱなしになっていませんか。	着座センサーの紙を取り除きます。
	不適切な布カバーを付けていませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。（☞**39**ページ）
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。（☞**13**ページ）
脱臭効果が弱くなった。（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。（☞**22**ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。（☞**22**ページ）

その他

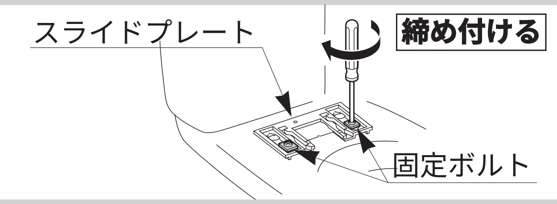
現　象	原　因	処　置
本体がガタつく ずれる	本体がロックされていますか。	本体を奥側に押してロックさせてください。（☞**24**ページ）
	スライドプレートがゆるんでいませんか。	**〈NewHシリーズの場合〉** スライドプレートの固定ボトルをプラスドライバーで締め付け直します。（下記参照） **〈RZシリーズの場合〉** 新取付ナットを締め直してください。 （☞**28**ページ）
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）		**故障ではありません。** **後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっているので、そのままご使用ください。**
洗浄強さランプが点滅している	点検時期が来ている。	**点検時期ですので、お早めに点検をお受けください。**
温水または便座の表示ランプが点滅している	点滅している機能に不具合が生じている。	**故障していますので、コンセントから電源**

■スライドプレート固定方法〈NewHシリーズの場合〉

1、本体をスライド着脱で便器から外します。（☞**23**ページ）

2、プラスドライバーを使って、スライドプレート内にある二本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。

3、本体を元に戻します。（☞**24**ページ）



アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（33ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、**お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンス**にご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

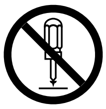
●コードの傷みやコンセントのガタツキ

●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。



2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

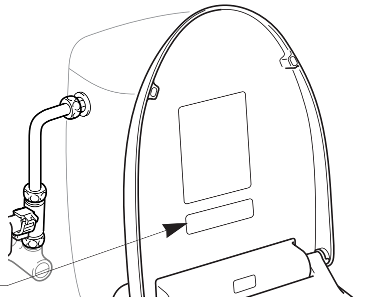
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏側の品番シールをご覧ください。）
3. お取付け日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により洗浄強さランプが点滅したら

定期点検については、㈱INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問合わせは

(株)INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　　9:00～19:00
　　　　　土日・祝日10:00～18:00（夏期、年末年始の休みは除く）

7. 商品についての修理のご依頼は

お求めの取扱店または

(株)INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

仕 様

タイプ		CW-H23型 CW-RZ3型 乾燥付・脱臭付	CW-H22型 CW-RZ2型 脱臭付	CW-H21型 CW-RZ1型
給水方式		水道直結式		
使用水道圧範囲		0.06〜0.74MPa {0.6〜7.5kgf/cm²}		
最大定格		AC100V 309W 50/60Hz		
商品寸法		幅 491×奥行 547×高さ 150mm		
商品質量		約 4.0 kg		
おしり・ビデ洗浄	温水タンク・貯湯量	貯湯式・0.88L（※2003年新基準による貯湯量）		
	ノズル	おしり・ビデ専用オートスライド式		
	ノズル穴	おしり用：φ1.3×2ヶ ビデ用：φ0.9×10ヶ		
	おしり洗浄吐水量	0〜0.9L/分（3段階調節）		
	ビデ洗浄吐水量	0〜0.9L/分（3段階調節）		
	温水ヒーター容量	250W		
	温水タンク内制御温度	切（水温）・低（約36℃）・中（約38℃）・高（約40℃）		
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空ダキ検知回路		
乾燥	風量	0.3m³/分	ー	
	温風ヒーター容量	200W	ー	
	温風温度調節	低（室温）・中・高	ー	
	安全装置	温度ヒューズ	ー	
便座	ヒーター容量	45W		
	表面温度	切（室温）・低（約28℃）・中（約36℃）・高（約40℃）		
	温度調節	4段階切替（マイコン制御）		
	安全装置	温度ヒューズ		
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式		ー
	脱臭能力	0.11m³/分		ー
	脱臭カートリッジ寿命	約 7 年		ー
節電機能		ワンタッチ節電（6時間後自動復帰）		
電源コード		有効長さ 1.0m		
使用温度範囲		0〜40℃		
その他の機能		●着座センサー ●本体スライド着脱 ●便座ヒーターオートOFF	●便座・便フタスローダウン ●便フタワンタッチ着脱機構 ●電源スイッチ ●大型兼用（サイドライン）便座	

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

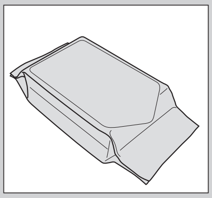
別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。

(☞19ページ)

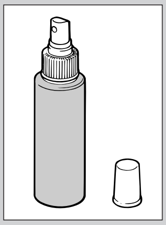
※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。



■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。

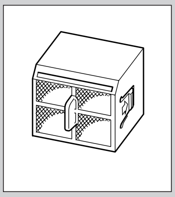
(☞19ページ)



■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。

(☞22ページ)



■シートカバー品番：ACF-355、455（シャワートイレ用）
■便フタカバー品番：ACF-343、ACF-443、ACF-A43
ACF-B43、ACF-C43（ロングタイプ）

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00～17：00（夏期、年末年始の休みは除く）

保証書（※RZシリーズは別梱されている保証書をご使用ください。）

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名及び品番

シャワートイレ（品番：CW-　　　　　）

保証期間

取付日より2ヶ年

取付日

年　　月　　日

お客さま

おなまえ　　　　　　　　　　　　　様

おところ

おでんわ

(　　　)　　　-

無効

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内、アフターサービスのページに掲載の、（株）INAXメンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
（1）一般家庭用以外（車両・船舶及び使用頻度が高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷
（2）施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
（3）不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
（4）掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
（5）不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
（6）建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
（7）消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
（8）公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
（9）小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
（10）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変よる故障及び損傷
（11）戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
（12）温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
（13）異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
（14）指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
（15）保証書の期限切れ、または提示がない場合
（16）本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に掲載の、お客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社INAX

愛知県常滑市鯉江本町　〒479-8585
TEL:(0569)35-2700 (代表)
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1164(06040)